

J - クレジット制度管理者 御中

## 実績確認概要書

平成30年11月1日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	氷砂糖及び関連製品製造工場におけるボイラ高効率化による排出削減事業
承認番号	KC0613
排出削減事業者名	鳳冰糖株式会社
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社 (その他関連事業者名： なし )
事業実施場所	鳳冰糖株式会社 本社工場 (住所：福岡県北九州市門司区下二十町12番2号)
事業の概要	A重油焚ボイラを、都市ガス焚ボイラへ設備更新し、高効率化することにより、二酸化炭素排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2010年度： 437 tCO <sub>2</sub> 2011年度： 749 tCO <sub>2</sub> 2012年度： 749 tCO <sub>2</sub> 2013年度： 793 tCO <sub>2</sub> 2014年度： 789 tCO <sub>2</sub> 2015年度： 789 tCO <sub>2</sub> 2016年度： 789 tCO <sub>2</sub> 2017年度： 789 tCO <sub>2</sub> 2018年度： 330 tCO <sub>2</sub> (事業実施期間合計 6,214 tCO <sub>2</sub> )
クレジット認証期間	開始日 2010年9月1日 終了日 2018年8月31日
排出削減方法論	方法論番号001: ボイラーの更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2018年8月31日（第3回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	3,541 tCO <sub>2</sub> (2013年4月1日～2018年8月31日)
-------	--

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 都市ガス請求書の確認及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 都市ガスの請求書からの都市ガス使用量の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び承認された削減事業計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 都市ガスの集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 排出削減事業者へのヒアリング並びに都市ガス供給会社提

	<p>供値及びJ-クレジット制度 モニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.2等により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認された排出削減事業計画の通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果を都市ガス請求書の集計データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は、2013年4月1日から2018年8月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了日は2018年8月31日となっているため、当該算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。</p>

#### 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の実績確認において、承認された排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。前回実績報告期間は在庫調整に伴う生産量低下のため、排出削減事業計画の推定値に比べて排出削減量が少なかった。今回の実績値は前回実績確認から増加しているが、排出削減事業計画の推計値を下回っており、排出削減事業に変更が無いことを確認した。

#### 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算122.4 kL、熱量換算4,745.4 GJであることを確認した。

以 上